

令和 8 年熊本地震に関する災害対策本部の活動について

令和 8 年 8 月 10 日

日本維新の会

日本維新の会では、中司宏幹事長を本部長とした令和 8 年熊本地震に関する災害対策本部を設置。現地では、松野明美参議院議員をはじめ熊本維新の会、福岡維新の会のメンバーを中心に対応にあたっています。

地震発生翌日に開かれた 7 月 29 日の国会議員団の両院議員総会では、「身を切る改革」の基金から熊本県、熊本市、八代市への寄付を速やかに決定し、その後に開かれた対策本部では、小野泰輔八代市長からの要請に基づくタンクローリーの派遣、給水車の派遣について、遠藤敬総理補佐官と連携を行い対応しました。

熊本における地震に関する災害対策本部	小野泰輔八代市長からの要請に基づく 緊急支援・対応状況
● 日本維新の国会議員団両院議員総会開催 7月29日(水)13時00分 - 日本維新の国会議員団両院議員総会にて、対策本部の人事を承認 - 党として「身を切る改革」の基金から、熊本県、熊本市及び八代市への寄附を決定 ● 第1回対策本部開催 7月29日(水)13時30分 - 担当省庁から被災状況等の報告を受けるとともに、現地で対応する松野明美副本部長からの情報をもとに、今後の対応について検討 - 前衆議院議員の小野泰輔八代市長からのガソリンタンクローリー、給水車の応援要請に対し、遠藤総理補佐官が政府対策本部を通して速やかに対応を実施 - 今後、松野明美副本部長を通じて、現地の避難所でまとめられた要望等に基づき速やかに救援物資を届けること、現地の避難所等で混乱が起きないよう窓口を一元化すること、復旧作業に支障がないようにすることなどが確認された	要請 7月29日(水) 小野市長から中司本部長・松野副本部長に要請 ・10時 車中泊によるガソリン不足のため、八代市へのタンクローリー派遣について ・14時 水不足のため、八代市への給水車派遣について 対応 - 中司本部長よりメンバーへ共有・官邸(総理補佐官)と連携 - 遠藤総理補佐官より防災官に対応を指示

また、避難所である八代総合体育館からの要請で、ウェットティッシュやボディシート等の調達を行い、31 日に第一便として搬送しました。

避難所・八代市総合体育館からの要請に基づく 緊急支援・対応状況 ①	避難所・八代市総合体育館からの要請に基づく 緊急支援・対応状況 ②
要請 7月29日(水)16時20分 避難所である八代市総合体育館から松野副本部長に救援物資の要請 物資: ウェットティッシュ(手拭き用)2000枚 ボディシート 2000枚/薄手タオルケット1000枚 薄いクッションマット(段ボール)1000枚 こども用のおむつ20袋/・大人用おむつ 20袋・粉ミルク 対応 - 中司本部長より、村上副本部長はじめ福岡維新の会に調達を指示 - 村上副本部長、草場議員及び有田議員で調達 - 遠藤補佐官より、現地入りにおける留意事項の確認と各省庁・役所との連携を指示	対応 7月31日(金) 救援物資の受け渡し(第1便) 現地担当課長と打合せ、報告しながら向かうも、物流センターで他市との物資調整も重なり、物資の集約や各所との調整に時間を要した 21時頃、現地で松野副本部長と共に荷下ろしを行う 

8月3日にはエアマット等を、6日・7日には冷却シートや災害用タオルケットを、また、7日には甲佐町からの要請で屋根の補修に用いるブルーシートを調達しました。

**避難所・八代市総合体育館からの要請に基づく
緊急支援・対応状況 ③**

日本維新の会

対応

- 8月3日(月) 救援物資の受け渡し(第2便)
前原顧問の後援者から寄附いただいたエアマット等が、八代市総合体育館に到着

・エアマット1000枚 →1メートル四方 段ボール箱 2箱
・エアマットカバー 1000枚 ・ポンプ 250本

8月4日 現地で松野副本部長が八代市総合体育館にて受け渡し



**避難所・八代市総合体育館からの要請に基づく
緊急支援・対応状況 ④**

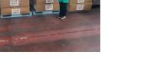
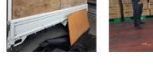
日本維新の会

対応

- 8月6日(木)・7日(金) 追加分の救援物資の受け渡し(第3便)
・冷却シート 1000枚
・災害用タオルケット 1000枚

物資の量が多いため、2回に分けて搬送

8月6日・8月7日 現地で松野副本部長と草場議員が八代市総合体育館にて受け渡し



**甲佐町役場からの要請に基づく
緊急支援・対応状況①**

日本維新の会

要請

- 8月2日(日)9時すぎ
熊本県甲佐町役場から有田議員に支援物資の要請

物資:ブルーシート(サイズ希望は10×10m)
屋根の補修に用いるため、大きいサイズが多数必要

対応

- 中司本部長から有田議員へ確認
・草場議員はじめ、福岡維新の会で取りまとめ、現地と調整を進める
・第1弾として100万円を目途として福岡維新の会で調達する

**甲佐町役場からの要請に基づく
緊急支援・対応状況②**

日本維新の会

対応

- 本日8月7日(金) 甲佐町役場で救援物資(ブルーシート)を受け渡し



全国各地の維新の会からも、「身を切る改革」を原資とする寄付が被災地に届けられています。一刻も早い被災地の復旧・復興に向けて、全力で取り組んでまいります。

身を切る改革の寄付について

日本維新の会

- 国会議員団両院議員総会において、熊本県に1000万円、熊本市に1000万円 八代市に1000万円を寄付することを決定
- 総会では「救援物資を届ける方が良いのではないか」との提案があったため、まず、現地の状況を把握し、要請のあった救援物資を八代市総合体育館等の避難所に届けた(計約1000万円相当)
- 8月1日(土)に行われた、全国幹事長会議において、維新の会各総支部等からの寄附の申し出については、対策本部にて情報を集約することを確認した

【寄付状況 8月6日現在】

総支部・支部等	寄付先・金額
愛知維新の会議員団	日本赤十字熊本県支部 700万円
神奈川維新の会	100万円
東京維新の会	日本赤十字熊本県支部 1000万円
堺市議団	熊本県 1000万円 八代市 500万円
京都府議団	熊本県知事 500万円